

テニスが教えてくれたこと

香芝市立香芝北中学校 2年 越ヶ谷 亜依

私はテニスを始めたとき、「勝つこと」が一番大切だと思っていました。試合で勝ったらうれしいし、負けたらくやしい。今まではただそれだけを意識してプレーしていました。でもテニス続けて約1年、勝ち負けよりも大切なことがあると気づきました。

私は試合で負けるとすぐネガティブになってしまいます。思うようなプレーができなかった日には、帰ってからも試合のことばかり考えてしまいます。「あの1本が入っていたら」「もっと冷静にプレーしていたら」と、後悔したことが何度もあります。その後悔を次に活かすために試合後には必ずテニスノートを書いています。できなかったことだけではなく、少しでもできたことも書くようにしています。そうすると「今日は前よりサーブが入った」「前はとれなかったボールが返せた」など、小さな成長に気づけるようになりました。

6月の市総体では、決勝戦を観戦しました。決勝まで勝ち進んだ選手たちはどちらもすごく強く、激しい戦いでした。でも私がすごいと思ったのはテニスの技術だけではなく、ミスをした後も下を向かず、すぐに気持ちを切り替えて、次のポイントに集中している姿でした。苦しい場面でも、最後まであきらめず、1球1球を大切にしている姿を見て、「強い選手は心も強いんだ」と感じました。私は試合でミスをするとその1本を引きずってしまうことがあります。でも決勝戦の選手たちは前の1本ではなく次の1本だけをみていました。その姿を見て、私は強くなるためには技術だけではなく、心も成長しなければいけないと思いました。それからは練習でも試合でも「失敗しても次の1本」ということを意識してテニスをするようになりました。でも、今もうまくいかない日はあります。悔しくて、涙を流す日もあります。そんなときは決勝戦の選手たちを思い出して切り替えるようにしています。

私は、テニスを通して、努力をしても、すぐに結果が出るものではないということを知ることができました。それでも、毎日の練習や反省は少しずつ自分を強くしてくれるし、成長させてくれます。毎日の放課後の練習での積み重ねは、いつか自分を優勝に導いてくれると私は信じて日々練習に取り組んでいます。だから、私はこれからも勝ちたいという気持ちを大切にしながらテニス続けていきます。でも、勝つことだけを目標にしてテニスをし続けるではありません。たとえ、負けてしまっても、そこで終わりではなく「次はどうすれば勝つことができるのか」を考えられる人になりたいです。

テニスは、私に、ラケットの振り方だけでなく、すぐにあきらめないこと、自分を信じ続けること、そして努力を続けることの大切さを教えてくれました。

これから先、勉強や将来の夢に向かって、突き進んで行く途中で壁にぶつかることもあると思います。そんなとき、コートで学んだことを思い出し、一步一步前に進んで行きたいです。私はこれからも、テニスを通して、教えてもらった「最後まであきらめずに努力すること」を大切にしていきます。そして、勝っても負けても、自分らしく前を向いて進んでいける人になりたいです。